



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月11日

上場会社名 扶桑化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4368 URL https://fusokk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 裕之 TEL 03-3639-6311
 定時株主総会開催予定日 2023年6月23日 配当支払開始予定日 2023年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	68,459	22.8	18,930	25.9	19,740	27.3	14,129	29.7
2022年3月期	55,760	32.1	15,034	56.1	15,509	59.1	10,890	60.0

(注) 包括利益 2023年3月期 14,328百万円 (18.7%) 2022年3月期 12,070百万円 (60.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	400.90	—	17.4	19.2	27.7
2022年3月期	308.08	—	15.4	18.5	27.0

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

減価償却前連結営業利益 (連結営業利益+減価償却費)

2023年3月期 23,268百万円 (19.4%) 2022年3月期 19,488百万円 (32.9%)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	113,528	87,502	77.1	2,482.80
2022年3月期	92,009	75,303	81.8	2,136.65

(参考) 自己資本 2023年3月期 87,502百万円 2022年3月期 75,303百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	13,925	△13,417	△2,124	22,350
2022年3月期	10,199	△9,375	△2,882	23,460

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00	1,938	17.9	2.7
2023年3月期	—	30.00	—	33.00	63.00	2,220	15.7	2.7
2024年3月期 (予想)	—	33.00	—	33.00	66.00		24.6	

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	33,600	△5.0	7,100	△25.9	7,100	△34.0	4,850	△35.5	137.61
通期	69,300	1.2	13,800	△27.1	13,800	△30.1	9,450	△33.1	268.13

(参考) 減価償却前連結営業利益 (連結営業利益+減価償却費)

第2四半期 (累計) 10,150百万円 (△12.7%) 通期 21,700百万円 (△6.7%)

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 13「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期	35,511,000株	2022年3月期	35,511,000株
2023年3月期	267,466株	2022年3月期	267,425株
2023年3月期	35,243,568株	2022年3月期	35,348,305株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	57,017	23.5	15,113	23.0	17,578	25.8	13,042	28.3
2022年3月期	46,166	30.4	12,288	58.5	13,970	51.5	10,162	50.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	370.05	—
2022年3月期	287.48	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2023年3月期	103,084		78,096		75.8	2,215.90		
2022年3月期	84,011		67,427		80.3	1,913.17		

(参考) 自己資本 2023年3月期 78,096百万円 2022年3月期 67,427百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況」の「(1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
(4) その他	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(表示方法の変更)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. 個別財務諸表	17
(1) 貸借対照表	17
(2) 損益計算書	19
(3) 株主資本等変動計算書	20

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

①当期の概況

当連結会計年度における世界経済は、経済活動の正常化が進み回復傾向で推移しました。一方でウクライナ問題は長期化し、世界的にインフレは継続しています。また、中国経済の動向や欧米の利上げによる景気後退懸念、米国の銀行破綻による信用不安の拡大、経済安全保障リスクも高まり、経済への影響が懸念される状況が継続しています。日本経済においても、社会活動の制限解除により経済の持ち直しの動きが見られますが、物価上昇による消費動向の落ち込みが懸念されるほか、日銀の政策変更により今後の利上げによる景気後退懸念が高まるなど、依然として先行きは不透明な状況が継続しています。

当社の事業環境としましては、食品関連市場は底堅く推移しましたが、半導体市場においては中長期的な成長は見込まれるものの、足元ではメモリー市場を中心に落ち込みが顕在化し、関連する工業分野でも停滞の動きが見られました。

このような情勢下、当社グループは引き続き新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底したうえで事業の継続に注力するとともに、成長を維持するため、販拡・価格改定などの営業活動の強化、研究施設の拡充などの研究開発体制を強化し新製品開発に取り組みました。さらに、原料資材の安定確保、既存設備の維持・強化による供給体制の強化を進めると共にコストダウンや効率化を図りました。また、進行中の大型製造設備投資計画を推進し、さらなる供給体制の強化を進めています。加えて、就業環境や社内体制の整備等、ガバナンスの強化を推進し、経営基盤の一層の強化にも取り組みました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、68,459百万円（前年同期比22.8%増、12,698百万円増）となりました。利益面では、営業利益は18,930百万円（同25.9%増、3,895百万円増）、経常利益は19,740百万円（同27.3%増、4,230百万円増）、親会社株主に帰属する当期純利益は14,129百万円（同29.7%増、3,239百万円増）となりました。

売上高、営業利益は、後述の各セグメントの要因により増収増益となりました。経常利益は、営業利益の増加に加え円安による為替差益が計上されたことで増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益計上の影響も加わり増益となりました。

当社グループの報告セグメントの業績は、次のとおりです。

(ライフサイエンス事業)

ライフサイエンス事業の業績は、外部顧客に対する売上高が37,803百万円（前連結会計年度比20.3%増、6,372百万円増）、営業利益は7,403百万円（同49.9%増、2,463百万円増）となりました。

主力製品のリンゴ酸の需要は、景気後退の影響はあるものの価格改定や円安の効果もあり売上高は増加しました。工業用途の製商品は、当連結会計年度下期より世界的な景気後退の影響が顕在化しつつあり、需要が落ち込みました。日本においては、原料価格の高騰は一時ほどではないものの前連結会計年度に比べ上昇しました。そのため販売価格が原料価格に連動する契約となっている製品の販売単価が上昇し、売上の増加要因となりました。輸入商品価格は当連結会計年度上期において高騰していましたが、下期には円安の影響があるものの急激に低下したため、適正な販売価格の改定を継続し、収益の維持に努めました。海外子会社においても、原料価格の高騰に対して価格改定を実施し、販売促進の取り組みによる売上増加、円安による円換算後の増加効果もあり、売上高は増加しました。その結果、セグメント全体の売上高は前連結会計年度を上回りました。営業利益は、世界的な原料価格の高騰、円安による輸入価格の上昇、エネルギー価格の上昇、物流費増加等のコストアップの影響があったものの、売上高の増加により、前連結会計年度を上回り増収増益となりました。

(電子材料および機能性化学品事業)

電子材料および機能性化学品事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が30,655百万円（前連結会計年度比26.0%増、6,326百万円増）、営業利益は13,394百万円（同15.3%増、1,782百万円増）となりました。

主力製品の超高純度コロイダルシリカは当連結会計年度下期に半導体市場停滞の影響を受けましたが、年間での需要は堅調に推移しました。また、半導体の微細化の進展により最先端分野での需要は増えており、採用も増加しています。さらに、原料価格の変動に対する販売価格改定や円安効果が売上高の増加要因となりました。加えて、在宅勤務の普及によるトナー需要減退の影響を受けていたナノパウダーの需要は回復し、セグメント全体の売上高は前連結会計年度を上回りました。営業利益は、原料価格やエネルギー価格の上昇が製造コストに大きく影響し、物流費を中心として販売費及び一般管理費も増加したものの、売上高の増加、増産によるコストダウン効果、生産設備に係る減価償却費の減少により、前連結会計年度を上回り増収増益となりました。

②今後の見通し

今後の世界経済は、ウクライナ情勢の長期化、インフレの継続、金融信用不安の増加、経済安全保障リスクの高まり等、経済の混乱要因により、先行きは見通せない状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、当社経営資源を有効活用した国内外の需要取り込み、海外拠点を活用した海外展開、継続的な改善活動を通じたコア事業の更なる強化、市場ニーズに適合した新規商品の開発に取り組みます。さらに新規設備投資計画を進め、増加が見込まれる需要に対応するため供給力を強化します。

業績予想の売上高は、半導体市場の減速が想定されますが、当社主力製品である有機酸の海外展開の強化により、増収を見込んでいます。利益面では、セグメント構成比の変化や、原料・エネルギー価格の高止まり、新規設備の稼働に伴う減価償却費等の費用増加を見込んだことにより、減益となる見込みです。

(連結業績予想および当期実績比較)

	2023年3月期実績 (百万円)	2024年3月期予想 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	68,459	69,300	+840	+1.2
営業利益	18,930	13,800	△5,130	△27.1
経常利益	19,740	13,800	△5,940	△30.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,129	9,450	△4,679	△33.1

当社グループは現在、2021年度から2025年度を対象とする中期経営計画“FUSO VISION 2025”を推進しています。この度、業績が目標を上回ったため、最終年度である2025年度の経営目標の見直しを行いました。詳細は、当社ウェブサイトをご参照ください。引き続き、「社会課題の解決に貢献するFUSOであるために」を実現し、中期経営目標の達成を目指します。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ21,519百万円増加し、113,528百万円となりました。これは主に、設備投資等に係る建設仮勘定の増加によるものです。

負債については、前連結会計年度末に比べ9,319百万円増加し、26,026百万円となりました。これは主に、設備関係未払金の増加によるものです。

純資産については、前連結会計年度末に比べ12,199百万円増加し、87,502百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前当期純利益および減価償却費の発生により取得した資金を有形固定資産の取得、法人税等の支払、配当金の支払に充てた結果、前連結会計年度末に比べ1,109百万円減少し、22,350百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果取得した資金は、13,925百万円（前連結会計年度は10,199百万円の取得）となりました。これは主に、棚卸資産の増加および法人税の支払いによる支出が発生しましたが、税金等調整前当期純利益、減価償却費による収入が発生したためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、13,417百万円（前連結会計年度は9,375百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が発生したためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2,124百万円（前連結会計年度は2,882百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払いを行ったためです。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆様への長期的な利益還元を経営の重要課題の一つとして考えています。利益配分の基本方針は、業績や事業計画、財務体質等を総合的に勘案し、長期にわたり安定的な配当を行うことです。

内部留保金につきましては、将来の事業成長のための設備投資および研究開発に充当していきます。

当期の年間配当金につきましては、1株につき普通配当63円（うち、中間配当30円）を予定しています。予定どおり議決されまると、当期の配当性向は、15.7%（連結）となります。

次期の年間配当金につきましては、1株につき普通配当66円（うち、中間配当33円）を予定しています。

(4) その他

（重要な設備の新設等）

前連結会計年度末において計画であった重要な設備の新設等について、当連結会計年度に変更があったものは次のとおりです。また、当連結会計年度に新たに確定した重要な設備の新設計画は次のとおりです。

会社名 事業所 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着手及び完了予定	
			総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手 (年月)	完了 (年月)
扶桑化学工業(株) 鹿島事業所 (茨城県神栖市)	電子材料および機能性 化学品事業	超高純度コロ イダルシリカ 製造設備および付帯設備	18,000	11,271 (注) 1	自己資金	2021年8月	2023年4月
扶桑化学工業(株) 京都事業所 (京都府福知山市)	電子材料および機能性 化学品事業	超高純度コロ イダルシリカ 製造設備および付帯設備	10,000	3,398 (注) 1	自己資金	2022年8月	2024年4月
扶桑化学工業(株) 鹿島事業所 (茨城県神栖市)	電子材料および機能性 化学品事業	超高純度コロ イダルシリカ 製造設備および付帯設備	20,000	—	借入金 (注) 2	2023年9月	2025年7月

(注) 1. 既支払額を変更しています。

2. 投資予定額20,000百万円のすべてについて借入金を充当することとし、2023年4月25日から2023年5月10日にかけて金融機関5社からの借入を実行しました。詳細は、「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項（重要な後発事象）」をご参照ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、また海外からの資金調達の必要性が乏しいことから、会計基準につきましては日本基準を適用しています。なお、今後につきましては、国際会計基準の適用動向等を踏まえた上で、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,236,473	23,412,586
受取手形及び売掛金	14,886,764	14,968,781
有価証券	123,756	—
商品及び製品	7,972,496	11,880,482
仕掛品	764,836	691,534
原材料及び貯蔵品	3,240,909	3,468,641
その他	866,980	936,534
貸倒引当金	△14,013	△14,513
流動資産合計	52,078,203	55,344,047
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,788,477	21,392,690
減価償却累計額	△11,137,413	△11,974,615
建物及び構築物（純額）	9,651,063	9,418,074
機械装置及び運搬具	34,369,808	35,741,898
減価償却累計額	△27,320,329	△29,501,284
機械装置及び運搬具（純額）	7,049,478	6,240,614
土地	6,902,935	6,913,458
建設仮勘定	11,247,687	30,938,084
その他	3,272,118	3,831,573
減価償却累計額	△2,832,696	△3,040,303
その他（純額）	439,421	791,270
有形固定資産合計	35,290,587	54,301,501
無形固定資産	1,904,627	1,346,426
投資その他の資産		
投資有価証券	1,030,246	691,304
長期前払費用	492,355	366,419
繰延税金資産	910,570	1,173,700
退職給付に係る資産	121,063	102,262
その他	181,848	203,209
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,736,084	2,536,896
固定資産合計	39,931,299	58,184,824
資産合計	92,009,502	113,528,872

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,039,108	3,294,849
未払金	1,883,766	1,983,822
設備関係未払金	4,900,797	13,775,370
未払法人税等	3,219,784	3,301,849
賞与引当金	628,515	690,054
役員賞与引当金	65,600	71,800
修繕引当金	373,514	356,024
その他	556,315	434,899
流動負債合計	14,667,402	23,908,669
固定負債		
繰延税金負債	187,187	191,191
退職給付に係る負債	1,555,891	1,624,715
資産除去債務	8,289	27,974
長期設備関係未払金	182,180	167,408
その他	105,202	106,088
固定負債合計	2,038,751	2,117,377
負債合計	16,706,154	26,026,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,334,047	4,334,047
資本剰余金	4,820,722	4,820,722
利益剰余金	64,183,183	76,183,899
自己株式	△1,112,561	△1,112,711
株主資本合計	72,225,391	84,225,957
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	421,137	188,739
繰延ヘッジ損益	25,107	△3,019
為替換算調整勘定	2,631,711	3,091,146
その他の包括利益累計額合計	3,077,957	3,276,866
純資産合計	75,303,348	87,502,824
負債純資産合計	92,009,502	113,528,872

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	55,760,482	68,459,392
売上原価	32,679,133	40,048,359
売上総利益	23,081,348	28,411,033
販売費及び一般管理費	8,046,587	9,480,422
営業利益	15,034,761	18,930,611
営業外収益		
受取利息	16,913	135,066
受取配当金	30,855	25,291
為替差益	404,787	616,034
その他	29,184	45,513
営業外収益合計	481,741	821,906
営業外費用		
支払手数料	—	1,757
減価償却費	2,633	3,089
投資事業組合運用損	3,251	6,525
その他	996	1,046
営業外費用合計	6,882	12,420
経常利益	15,509,619	19,740,097
特別利益		
固定資産売却益	1,105	46
投資有価証券売却益	226,065	384,435
会員権売却益	272	—
補助金収入	—	4,200
特別利益合計	227,444	388,682
特別損失		
固定資産売却損	1,497	—
固定資産除却損	21,654	29,142
減損損失	—	17,315
特別損失合計	23,151	46,458
税金等調整前当期純利益	15,713,912	20,082,321
法人税、住民税及び事業税	4,591,612	6,114,620
法人税等調整額	231,904	△161,758
法人税等合計	4,823,517	5,952,861
当期純利益	10,890,394	14,129,459
親会社株主に帰属する当期純利益	10,890,394	14,129,459

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	10,890,394	14,129,459
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54,462	△232,398
繰延ヘッジ損益	8,594	△28,126
為替換算調整勘定	1,225,509	459,434
その他の包括利益合計	1,179,641	198,909
包括利益	12,070,036	14,328,369
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	12,070,036	14,328,369
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,334,047	4,820,722	55,121,274	△4,771	64,271,272
会計方針の変更による累積的影響額			△55,857		△55,857
会計方針の変更を反映した当期首残高	4,334,047	4,820,722	55,065,416	△4,771	64,215,415
当期変動額					
剰余金の配当			△1,768,679		△1,768,679
親会社株主に帰属する当期純利益			10,890,394		10,890,394
自己株式の取得				△1,107,790	△1,107,790
その他			△3,948		△3,948
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	9,117,766	△1,107,790	8,009,976
当期末残高	4,334,047	4,820,722	64,183,183	△1,112,561	72,225,391

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	475,600	16,513	1,406,202	1,898,315	66,169,588
会計方針の変更による累積的影響額					△55,857
会計方針の変更を反映した当期首残高	475,600	16,513	1,406,202	1,898,315	66,113,731
当期変動額					
剰余金の配当					△1,768,679
親会社株主に帰属する当期純利益					10,890,394
自己株式の取得					△1,107,790
その他					△3,948
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△54,462	8,594	1,225,509	1,179,641	1,179,641
当期変動額合計	△54,462	8,594	1,225,509	1,179,641	9,189,617
当期末残高	421,137	25,107	2,631,711	3,077,957	75,303,348

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,334,047	4,820,722	64,183,183	△1,112,561	72,225,391
会計方針の変更による累積的影響額					
会計方針の変更を反映した当期首残高	4,334,047	4,820,722	64,183,183	△1,112,561	72,225,391
当期変動額					
剰余金の配当			△2,114,614		△2,114,614
親会社株主に帰属する当期純利益			14,129,459		14,129,459
自己株式の取得				△150	△150
その他			△14,129		△14,129
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	12,000,715	△150	12,000,565
当期末残高	4,334,047	4,820,722	76,183,899	△1,112,711	84,225,957

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	421,137	25,107	2,631,711	3,077,957	75,303,348
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	421,137	25,107	2,631,711	3,077,957	75,303,348
当期変動額					
剰余金の配当					△2,114,614
親会社株主に帰属する当期純利益					14,129,459
自己株式の取得					△150
その他					△14,129
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△232,398	△28,126	459,434	198,909	198,909
当期変動額合計	△232,398	△28,126	459,434	198,909	12,199,475
当期末残高	188,739	△3,019	3,091,146	3,276,866	87,502,824

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	15,713,912	20,082,321
減価償却費	4,453,399	4,337,558
貸倒引当金の増減額（△は減少）	3,822	△671
賞与引当金の増減額（△は減少）	△20,071	61,296
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	11,240	6,200
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	15,222	87,424
修繕引当金の増減額（△は減少）	45,649	△17,490
受取利息及び受取配当金	△47,769	△160,358
為替差損益（△は益）	△363,397	△392,579
固定資産売却損益（△は益）	391	△46
固定資産除却損	21,654	29,142
減損損失	—	17,315
投資有価証券売却損益（△は益）	△226,065	△384,435
会員権売却損益（△は益）	△272	—
投資事業組合運用損益（△は益）	3,251	6,525
補助金収入	—	△4,200
売上債権の増減額（△は増加）	△4,125,619	81,426
棚卸資産の増減額（△は増加）	△2,976,352	△3,977,200
仕入債務の増減額（△は減少）	907,943	217,416
未払金の増減額（△は減少）	400,244	83,736
その他	△631,033	△235,406
小計	13,186,148	19,837,973
利息及び配当金の受取額	48,038	148,273
補助金の受取額	—	4,200
法人税等の支払額	△3,035,124	△6,064,462
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,199,062	13,925,984
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,499,564	△1,153,949
定期預金の払戻による収入	1,548,124	898,000
有価証券の取得による支出	△113,503	—
有価証券の売却による収入	113,503	136,970
有形固定資産の取得による支出	△9,225,803	△13,433,048
有形固定資産の売却による収入	1,465	137
無形固定資産の取得による支出	△395,869	△201,759
投資有価証券の取得による支出	△60,621	△159,727
投資有価証券の売却による収入	291,800	536,859
投資事業組合からの分配による収入	—	5,162
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他	△34,562	△46,270
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,375,030	△13,417,624

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,107,790	△150
配当金の支払額	△1,768,811	△2,114,417
リース債務の返済による支出	△5,825	△10,068
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,882,427	△2,124,635
現金及び現金同等物に係る換算差額	682,526	507,044
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,375,868	△1,109,230
現金及び現金同等物の期首残高	24,835,971	23,460,102
現金及び現金同等物の期末残高	23,460,102	22,350,871

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下、「時価算定会計基準適用指針」という。）を、当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計基準を将来にわたって適用することとしました。これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、独立掲記していました「営業外収益」の「受取手数料」および「受取賃貸料」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「その他」に含めて表示しています。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っています。

この結果、前連結会計年度の連結財務諸表において、「営業外収益」の「受取手数料」に表示していた10,379千円および「受取賃貸料」に表示していた11,188千円は、「その他」として組み替えています。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、製商品・サービス別に事業部を置き、それぞれの事業部で、取扱い製商品・サービスについて国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製商品・サービス別のセグメントから構成されており、「ライフサイエンス事業」および「電子材料および機能性化学品事業」の2つを報告セグメントとしています。

「ライフサイエンス事業」は、リンゴ酸、クエン酸、その他果実酸、食添製剤、グルコン酸、無水マレイン酸、フマル酸等の製造・販売を行っています。「電子材料および機能性化学品事業」は、超高純度コロイダルシリカ等の製造・販売および樹脂添加剤、ファインケミカル等の販売を行っています。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表と同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価格に基づいています。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,430,947	24,329,534	55,760,482	—	55,760,482
セグメント間の内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—
計	31,430,947	24,329,534	55,760,482	—	55,760,482
セグメント利益	4,940,194	11,612,139	16,552,334	△1,517,573	15,034,761
セグメント資産	33,931,963	34,225,450	68,157,414	23,852,088	92,009,502
その他の項目					
減価償却費 (注) 3	1,494,994	2,884,417	4,379,411	73,987	4,453,399
減損損失	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定資産の 増加額 (注) 4	2,225,839	9,964,410	12,190,250	302,620	12,492,871

- (注) 1. ・セグメント利益の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△1,517,573千円です。
 ・セグメント資産の調整額は、提出会社における余資運用資金（現金及び預金等）、長期投資資金（投資有価証券等）および管理部門に係る資産23,852,088千円です。
 ・減価償却費の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る減価償却費73,987千円です。
 ・有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門が取得した有形固定資産及び無形固定資産302,620千円です。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。
3. 減価償却費には、長期前払費用に係る償却額が含まれています。
4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の増加額が含まれています。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,803,853	30,655,539	68,459,392	—	68,459,392
セグメント間の内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—
計	37,803,853	30,655,539	68,459,392	—	68,459,392
セグメント利益	7,403,811	13,394,529	20,798,341	△1,867,729	18,930,611
セグメント資産	37,656,620	54,051,695	91,708,316	21,820,555	113,528,872
その他の項目					
減価償却費 (注) 3	1,442,218	2,752,570	4,194,788	142,769	4,337,558
減損損失	—	—	—	17,315	17,315
有形固定資産及び無形固定資産の 増加額 (注) 4	1,222,364	19,533,193	20,755,557	82,452	20,838,009

- (注) 1. ・セグメント利益の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△1,867,729千円です。
 ・セグメント資産の調整額は、提出会社における余資運用資金（現金及び預金等）、長期投資資金（投資有価証券等）および管理部門に係る資産21,820,555千円です。
 ・減価償却費の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る減価償却費142,769千円です。
 ・減損損失の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門の資産に係る減損損失17,315千円です。
 ・有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門が取得した有形固定資産及び無形固定資産82,452千円です。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。
3. 減価償却費には、長期前払費用に係る償却額が含まれています。
4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の増加額が含まれています。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しています。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）	当連結会計年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）
1株当たり純資産額	2,136.65円	2,482.80円
1株当たり当期純利益	308.08円	400.90円

- （注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。
 2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 （自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）	当連結会計年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	10,890,394	14,129,459
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	10,890,394	14,129,459
期中平均株式数（株）	35,348,305	35,243,568

（重要な後発事象）

（多額の資金の借入）

当社は、鹿島事業所における製造設備投資に係る資金への充当を目的として、以下のとおり借入を実行しました。

- （1）借入先 : 取引金融機関5社
- （2）借入金額 : 20,000百万円
- （3）借入利率 : 市場金利等を勘案して合理的に決定
- （4）借入実行日 : 2023年4月25日～2023年5月10日
- （5）借入期間 : 2023年4月～2030年4月
- （6）担保の有無 : なし

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,007,336	17,476,449
売掛金	13,027,869	13,296,144
商品及び製品	6,575,026	9,971,336
仕掛品	630,342	582,472
原材料及び貯蔵品	1,689,516	1,792,209
その他	1,113,285	941,266
貸倒引当金	△1,321	△1,643
流動資産合計	43,042,054	44,058,236
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,392,104	7,301,688
構築物	1,077,908	919,145
機械及び装置	5,919,047	5,099,255
車両運搬具	11,416	43,117
工具、器具及び備品	287,578	630,186
土地	6,787,206	6,787,206
リース資産	18,702	11,958
建設仮勘定	11,168,474	30,682,406
有形固定資産合計	32,662,440	51,474,964
無形固定資産		
1,714,606		1,162,819
投資その他の資産		
投資有価証券	1,030,246	691,304
関係会社株式	2,269,307	2,269,307
出資金	14,373	14,373
関係会社出資金	1,145,699	1,145,699
繰延税金資産	1,407,750	1,681,410
その他	725,051	586,849
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	6,592,429	6,388,945
固定資産合計	40,969,475	59,026,729
資産合計	84,011,529	103,084,966

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,876	6,774
買掛金	3,859,611	3,190,610
未払金	1,580,893	1,649,202
設備関係未払金	4,900,333	13,775,128
未払費用	180,899	198,332
未払法人税等	2,920,552	3,075,935
賞与引当金	592,584	639,255
役員賞与引当金	65,600	71,800
修繕引当金	373,514	356,024
その他	260,046	110,032
流動負債合計	14,735,910	23,073,097
固定負債		
退職給付引当金	1,552,825	1,620,894
長期設備関係未払金	182,180	167,408
その他	113,492	127,107
固定負債合計	1,848,497	1,915,410
負債合計	16,584,408	24,988,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,334,047	4,334,047
資本剰余金		
資本準備金	4,820,722	4,820,722
資本剰余金合計	4,820,722	4,820,722
利益剰余金		
利益準備金	103,680	103,680
その他利益剰余金		
圧縮積立金	83,631	78,619
別途積立金	8,233,979	8,233,979
繰越利益剰余金	50,519,805	61,452,325
利益剰余金合計	58,941,095	69,868,604
自己株式	△1,112,561	△1,112,711
株主資本合計	66,983,304	77,910,662
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	421,137	188,739
繰延ヘッジ損益	22,679	△2,943
評価・換算差額等合計	443,816	185,796
純資産合計	67,427,121	78,096,459
負債純資産合計	84,011,529	103,084,966

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	46,166,438	57,017,799
売上原価	27,225,691	34,108,918
売上総利益	18,940,747	22,908,880
販売費及び一般管理費	6,651,766	7,795,791
営業利益	12,288,980	15,113,089
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,072,251	1,825,343
受取手数料	124,661	148,798
為替差益	483,006	488,974
その他	6,086	9,996
営業外収益合計	1,686,007	2,473,112
営業外費用		
投資事業組合運用損	3,251	6,525
その他	970	1,046
営業外費用合計	4,222	7,572
経常利益	13,970,765	17,578,629
特別利益		
固定資産売却益	1,064	1
投資有価証券売却益	226,065	384,435
会員権売却益	272	—
補助金収入	—	4,200
特別利益合計	227,403	388,637
特別損失		
固定資産売却損	1,497	—
固定資産除却損	18,558	28,827
減損損失	—	17,315
特別損失合計	20,055	46,143
税引前当期純利益	14,178,112	17,921,122
法人税、住民税及び事業税	3,923,000	5,039,000
法人税等調整額	93,000	△160,000
法人税等合計	4,016,000	4,879,000
当期純利益	10,162,112	13,042,122

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計
					圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	4,334,047	4,820,722	4,820,722	103,680	89,309	8,233,979	42,176,552	50,603,520
会計方針の変更による累積的影響額							△55,857	△55,857
会計方針の変更を反映した当期首残高	4,334,047	4,820,722	4,820,722	103,680	89,309	8,233,979	42,120,694	50,547,663
当期変動額								
剰余金の配当							△1,768,679	△1,768,679
当期純利益							10,162,112	10,162,112
自己株式の取得								
圧縮積立金の取崩					△5,678		5,678	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	—	—	—	—	△5,678	—	8,399,111	8,393,432
当期末残高	4,334,047	4,820,722	4,820,722	103,680	83,631	8,233,979	50,519,805	58,941,095

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△4,771	59,753,519	475,600	16,513	492,113	60,245,633
会計方針の変更による累積的影響額		△55,857				△55,857
会計方針の変更を反映した当期首残高	△4,771	59,697,662	475,600	16,513	492,113	60,189,775
当期変動額						
剰余金の配当		△1,768,679				△1,768,679
当期純利益		10,162,112				10,162,112
自己株式の取得	△1,107,790	△1,107,790				△1,107,790
圧縮積立金の取崩		—				—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			△54,462	6,165	△48,296	△48,296
当期変動額合計	△1,107,790	7,285,642	△54,462	6,165	△48,296	7,237,345
当期末残高	△1,112,561	66,983,304	421,137	22,679	443,816	67,427,121

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計
					圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	4,334,047	4,820,722	4,820,722	103,680	83,631	8,233,979	50,519,805	58,941,095
会計方針の変更による累積的影響額								
会計方針の変更を反映した当期首残高	4,334,047	4,820,722	4,820,722	103,680	83,631	8,233,979	50,519,805	58,941,095
当期変動額								
剰余金の配当							△2,114,614	△2,114,614
当期純利益							13,042,122	13,042,122
自己株式の取得								
圧縮積立金の取崩					△5,012		5,012	－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	－	－	－	－	△5,012	－	10,932,520	10,927,508
当期末残高	4,334,047	4,820,722	4,820,722	103,680	78,619	8,233,979	61,452,325	69,868,604

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△1,112,561	66,983,304	421,137	22,679	443,816	67,427,121
会計方針の変更による累積的影響額						－
会計方針の変更を反映した当期首残高	△1,112,561	66,983,304	421,137	22,679	443,816	67,427,121
当期変動額						
剰余金の配当		△2,114,614				△2,114,614
当期純利益		13,042,122				13,042,122
自己株式の取得	△150	△150				△150
圧縮積立金の取崩		－				－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			△232,398	△25,622	△258,020	△258,020
当期変動額合計	△150	10,927,358	△232,398	△25,622	△258,020	10,669,337
当期末残高	△1,112,711	77,910,662	188,739	△2,943	185,796	78,096,459